

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすめ商品

純宮古島の伝統芸能を集めた 芸能館を開設

宮古芸能館「あーぐ座」

活用した地域資源

沖縄の伝統舞踊、沖縄音楽

事業概要

伝統芸能が地域に密着している沖縄。各地で伝えられている芸能は沖縄という枠を超え、全国でニーズがある。しかし、宮古島特有の芸能と言われるとどうしても「？」がついてしまう。宮古島にも沖縄本島や石垣島にも負けない伝統芸能が息づいている。株式会社バックではその伝統芸能の育成・継承に努めている。



株式会社 バック
代表取締役社長 栗國和伸さん

生産者インタビュー

この地域資源活用のきっかけは
なんだったのですか？

地域資源というと、地元の資源を活用して物を作るといった感覚があると思います。しかし、我々は元々イベント関係の仕事をしておりまして以前から宮古島の芸能関係と関わっておりまして。地域資源を単に物では無くして民謡あるいは舞踊等、こういったものも大切な地域資源という捉え方でいいのではないかと考え、国の方に事業申請して認められました。

宮古島の芸能とありますが
それを取り巻く環境は

どのようなものでしょうか？

そうですね、宮古島の芸能については、沖縄本島やおとなりの石垣島よりも一般的に認知度が低いと感じます。地元(宮古島)にも民謡酒場というものはあるんですけど、よく聞いてみると、7割から8割は宮古島以外の唄なんです。せっかく宮古島に観光に来ているのに宮古島の唄が少ない。これでいいのかなという思いがありました。しかも舞踊を見ると地元の人もあまり目イベントでないかぎり地元の人もあまり目



あーぐ座 宮古民謡

にする事はできないんですよ。せっかく沖縄本島にも石垣島にも負けない芸能があるのに、これでは後進の育成もできず、伝統も廃れてしまします。これではいけないと思い、宮古島芸能館の開設に至りました。こちらの「あーぐ座」では舞踊でも民謡でも宮古島のものだけです。当然私は宮古島の人間として人も自然も自信を持ってアピールできるのですが、芸能という部分でも宮古島を感じてもらい、解ってもらおう意味ではこだわりが必要だと思っています。

これは観光客の為でもあり
宮古島の為の事業ですね。

そうですね。宮古島は石垣島と違い生活の中に三線が息づいているほどではないんです。民謡なども限られた一部の人や興味のある人が習っているという範囲のなかで伝わっていました。ですから宮古島の人でも、この「あーぐ座」で初めてこんな舞踊や民謡が宮古島にあったんだと驚かれる人も多いんです。まだまだ底辺がしっかりしているとは言えませんが、この「あー

ぐ座」を起爆剤として宮古島の芸能を、そして宮古島全体を盛上げていきたいと思っています。そして我々の生きてきたこの島にこんなにいいものがあるんだよと、子孫へ伝える義務もあると思います。

この「あーぐ座」は、単に認定を受け芸能館を始めたというところではなく、これをスタートとして後進の育成・継承などを目的とした宮古島の文化交流の一端を担う施設として注目を浴びている。



宮古舞踊

株式会社 バック
〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里580-1
TEL 0980-73-3515 FAX 0980-73-3525